

「道の駅しらね」新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

【飛散感染防止策】

- ・ 職員全員がマスクの着用する。
- ・ 利用者マスクの着用は、個人の判断とする。
- ・ 入口に感染防止対策の協力ポスターを掲示する。

【接触感染防止策】

- ・ 職員は、手洗い、手首・手指消毒を定期的実施する。
- ・ 利用者には、手首・手指消毒を入場時に、実施させる。
- ・ そのため、館内に消毒用品を設置する。設置場所は、情報館の入り口とする。

【健康チェック】

- ・ 職員に対し、業務開始前に検温、体調確認を行う。発熱や風邪症状、嘔吐、下痢等の症状がある場合には、直ちに、出勤停止とする。
- ・ 利用者に対し、発熱や風邪等の症状があれば入場しないようポスターを掲示する。

(道の駅という特性上、利用者全員に検温を行うことは難しい。また、利用者と職員の空間が区切られている。よって、利用者全員に検温を行うと職員の感染リスクが高まるため、上記の対応とする。)

【トイレの衛生管理】

- ・ 不特定多数が接触する場所(便座、スイッチ、洗浄レバー等)は、定期的に消毒を行う。
(消毒の際は、マスク・手袋を着用し、十分な換気を行いながら作業を行う。)
- ・ トイレの蓋を閉めて汚物を流すように個室ごとポスターを掲示する。

【情報館の感染リスク軽減】

- ・ 換気を定期的に行う。利用者が多数来館する時間帯は常時開けておく。
(60分に1回、5分程度、2方向の窓を全開するなどの方法で換気を行う。)
- ・ その他、共用される部分や備品について、定期的に消毒を行う。

【喫煙スペースの使用】

- ・ 喫煙スペースでは利用者が多数密集しないよう、貼り紙などで注意を促す。

「道の駅しらね」新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

【受付】

- ・ 切符販売場所の消毒を定期的に行う。
- ・ 現金を取り扱うときは、接触回避のためトレー上のやり取りで行うこととする。
- ・ 切符購入希望者には、距離を取って並ばせるようにする。

【ベビールームの使用】

- ・ ベビールームを利用される方は、管理者に一言声をかけていただくようにポスター掲示をする。
- ・ 当面、ベビーベッドの使用は禁止し、給湯器のみの提供とする。

【その他】

- ・ 営業再開後も、新型コロナウイルス感染拡大状況について、観光施設課と情報交換・協議を行い、ガイドラインの改定などを決定する。
- ・ 不測の事態などが生じた場合については、観光施設課まで報告をする。

改訂 令和5年3月20日